

## オリンピック・パラリンピック報告会



「こどもの日」の5月5日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで北京2022 オリンピック・パラリンピック報告会が行われ、岩手県スポーツ賞授与とトークショーが開かれました。報告会には、狩野亮選手・高橋幸平選手・小西あかね選手・谷地宙選手・小林潤志郎選手・永井秀昭選手・小林陵侑選手の7名が出席し、岩淵麗楽選手と土屋正恵選手、阿部友里香選手がビデオでの出演

となりました。この日、現スーパーキッズからは99名が参加し、世界で戦う先輩アスリートから多くの学びを得ました。



＜映像でメッセージを届ける岩淵麗楽選手＞ ＜高橋幸平選手＞

♪参加者の感想より♪～抜粋～

- ・永井秀昭選手の言葉が、特に私の中ではひびきました。それは、「間違えたり失敗したりしたら、分析をして次につなげる」という言葉です。私も、できなかったときは先生にアドバイスをもらい、思い出しながら行っています。また、目標をもって前に進めば「できる」と、狩野亮選手から学びました。(小5)
- ・私が報告会に参加して感じたことは、どの選手も楽しんで競技に取り組んでいるということです。どんなにきつい練習でも、その後の達成感を知っているからこそ言えることがあるのだと思いました。選手たちが、「小さいころはスポーツをたくさん経験した方がよい。」と話していました。何か特定のスポーツをやるとしても、他の競技で鍛えられることがあることを知りました。スーパーキッズの体験トレーニングなどで、たくさんの競技に挑戦し、楽しんで取り組みたいと思いました。(小6)



＜永井秀昭選手に支えられ、ジャンプを披露する小林潤志郎選手＞

＜熱心に聞き入る参加したスーパーキッズたち＞



<選手たちの軽快なトークに笑顔を見せるスーパーキッズ> <司会の塚田さんと小西あかね選手>

<永井秀昭選手>

♪参加者の感想より♪～抜粋～

- 僕が一番感動したのは、本物のメダルを見ることができたことです。メダルはとても大きく輝いて見えました。あのメダルを取るためには、たくさんの努力があったと思います。陵侑選手は「まずは好きにならないと」と言っていました。まずは、その競技が好きにならないと、そのための練習も辛いだけになってしまうと思います。好きなだけでは上手にならないこともあるかもしれませんが、好きなら努力も出来ると思います。僕は、辛いことも乗り越えて努力できる何かを見つけていきたいです。このような会に参加させてもらえて、とても良い刺激になりました。この会で感じた刺激を今後活かしていきたいです。(中1)
- 私は、トークショーを聞いて特に二つのことが心に残っています。まず一つ目は、小西あかね選手が3回のオリンピックを振り返って、「1回目は経験した、2回目はチームに何ができるか考えた、3回目はチームを自分で導いていきたいと考えた」とお話したことです。このお話を自分に当てはめてみました。小学生の頃は大会に出場する経験をし、中学生の今は自己記録を更新するために自主練習に取り組んでいます。そして、高校生になったら、それまでの経験を活かして取り組みたいと考えています。二つ目は、多くの選手が話していた「競技を楽しむ」ということです。選手たちは、競技を楽しんでいるからこそ続けられるし、大変なときも乗り越えられると思いました。私ももっと競技を好きになって追及していきたいという気持ちになりました。(中2)
- シーズンが始まり、北京オリンピック・パラリンピックの記憶が少し薄れかけてきたところでしたが、報告会に参加したら、テレビで応援していた選手たちが目の前にいることにとても興奮しました。選手たちの話を聞いて、強く思ったことは、トップで長く戦い続けるためには、心から競技を楽しみ、好きであることが大切だということです。そして、スポーツは自分一人で頑張っているのではなく、自分の周りにいる人たちも一緒に頑張ってくれているから、みんなで感動できるものだというのを改めて感じることができました。僕もますます自分が取り組む競技を真剣に頑張っていきます。(中3)

報告会の中には、トークショーや小林陵侑選手への質問コーナーもあり、キッズは笑顔で選手の話に聞き入っていました。感動あり、笑いありの報告会は、現いわてスーパーキッズにとって、大きな意義をもつ貴重な時間となりました。

『次に続くのは、君たちだ!』



<スーパーキッズの質問に答える小林陵侑選手>

※写真掲載について、ご本人または各所属先、関係団体に許可を得ております。転載はご遠慮ください。

## 体力測定



5月3日に、全学年を対象に体力測定が行われました。垂直跳び・長座体前屈・握力・30m走・立ち五段跳び・20mシャトルランの6種目の他に、中学生のキッズは、インボディ測定も行いました。これは、体の基本成分である筋肉量・タンパク質・ミネラル・体脂肪などを分析し、体の健康状態などを把握することができます。

いわてスーパーキッズ発掘・育成事業では、今年度よりキッズ個々の身長、体重や体力測定結果に応じたトレーニングメニューの提供を行う「ネクストレーナー」を導入しました。今回測定した値をもとに、スーパーキッズのプログラムや「ネクストレーナー」を活用した日々のトレーニング等を積み重ね、自己の身体能力を高めていってほしいと思います。



## 中学生競技トレーニング:5月

5月から中学生（11期生）の競技トレーニングが始まりました。U15の希望者も参加して行われています。どの競技種目においても、競技指導者に熱心にご指導いただき、それに応えるようにキッズも頑張っていました。

- 8日（日）自転車①：紫波自転車競技場  
カヌー①：御所湖広域公園漕艇場
- 15日（日）ホッケー①：岩手町ホッケー場
- 29日（日）ラグビー①：紫波総合運動公園陸上競技場



<ラグビー>



<カヌー>



<自転車>



<ホッケー>

今月、ご協力いただきました競技団体の指導者の皆様に感謝申し上げます。